

令和4年度 学力向上マニフェスト

学校名 荒川区立第三中学校

事業名	取組の内容及び目標 (昨年度の区学力調査等の結果・分析等を踏まえて)
eライブラリ・アドバンスの更新	<p>【内容】 オンライン学習教材を「三中てらこや」において「自習コース」を選択した生徒に取り組みさせるほか、家庭学習で活用するよう促す。そして、学校だよりでeライブラリの説明、及び8月までの活用状況を紹介していく。</p> <p>【目標】 4月から12月までの活用率が48.7%（令和3年度）から55.0%。 4月から12月までの9ヶ月間の3分の2以上である6ヶ月以上活用した生徒が11名（令和3年度）から14名。</p>
英会話能力の向上	<p>【内容】 年間を通じた継続的なNEAの配置により、日常的な英語による生活会話のできる環境を整え、「聞くこと」「話すこと」の領域を中心に英会話能力を向上させ、他の領域も含めた英語の学力を高める。</p> <p>【目標】 区学力調査の本校の英語の正答率が、区の平均正答率を3ポイント上回る。</p>
各種検定受検奨励事業	<p>【内容】 「三中てらこや」で「検定コース」を選択した生徒のほか、家庭学習などで検定合格に向けて取り組みさせる。それぞれの検定の第3回が終了した3月の学校だよりで、受験者数を紹介する。また、その時点で合否の結果も分かっていたら、それぞれ準2級以上の合格者を紹介する。</p> <p>【目標】 漢検受験者数が184名（令和3年度）から184名。（維持） 数検受験者数が63名（令和3年度）から100名。 英検受験者数が242名（令和3年度）から242名。（維持）</p>
学習支援事業	<p>【内容】 授業中などに、主に個別指導により学習内容を理解できるような支援を行ったり、できていることを本人に伝えて認知させることにより、学習に対する自己肯定感を高める。</p> <p>【目標】 4月から12月までのドリルだけの利用合計回数100回以上の生徒が23名（令和3年度）から28名。 学校評価アンケートの「個に応じた指導」の生徒による回答の肯定的評価が80.0%以上。</p>